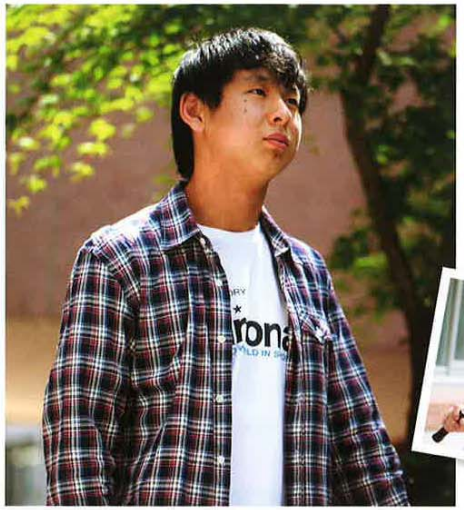
修道の新生は今

高校から入学した新生にも変わらぬ“修道魂”がある

男女共学から入っても、すぐに慣れることができました。



中学校の先生に「自由な校風」「勉強も部活も主体的にのびのびできる」と修道のことを聞き魅力を感じました。受験対策は私立難関・国立向けの参考書と過去問で対応し、小論文は先生に添削してもらいました。学習の進み具合が中学校よりも早いので、勉強についていけるか少し不安でしたが、入学までの勉強で追いつくように努力しました。みんな本当に親切で、生活にはすぐに慣れましたし、男子校にも違和感なくなりました。今後の目標は東大に入って工学を学びたいと思っています。

古賀 悠矢くん ■上級5年／スカッシュ班

あなたの思う紳士の条件は　人のことを思いやり、自発的に考えて行動できる人

男同士の付き合いができる、男子校に憧れていた。

男子校に憧れを抱いていたのが、修道を受験した理由です。入学当初は友達ができるのか不安もありましたが、新しい人間が珍しいのか気を使ってくれたのか、みんな話しかけてくれすぐに雰囲気にも慣れました。学力レベルでも地元校よりも修道の方が高いので、同じレベルの仲間と勉強した方が充実できると思いました。学習スピードが早い科目もあり戸惑うこともありましたが、模試の復習や宿題をこなすことで追いつくことができました。将来は社会に貢献でき、家庭も大切にできる大人になりたいと思います。

重弘 侑哉くん ■上級6年／インターアクト班

あなたの思う紳士の条件は　自分にも他人にも優しく、時に厳しく怒るときは怒る、ウソの少ない素直な人間

高校から修道で学んだOB

修道の自由さにひかれ入学しました。

二井谷 勇佑さん ■東京大学／理科I類 2年生○牛田中学校出身

高校からの受験に迷いましたが、修道のもつ自由さにひかれ決めました。学校生活で印象に残ているのはダメなものはダメだということ。自由には制限があり、許されることとそうでないことを常に意識する大切さを教えてくれました。また、本当に好きなことばかりやっていて、挑戦を繰り返すことで自分がどういう人なのかを模索もできました。それも良い仲間と、生徒にとことん向き合う先生たちがいたからだと思います。

予想をはるかに超える3年間だった。

大上 皓さん ■同志社大学／理工学部 1年生○砂谷中学校出身

転校生のような不安な気持ちで入学しましたが、みんな話かけてくれて、すぐに友達ができサッカー班にも入りました。入学前は、勉強漬けになると思っていましたが、班活動、行事、勉強、友達と遊ぶことも、すべてを頑張れる場所であることがわかりました。班活動や遊びだけでなく勉強もしっかりできるメリハリがつく環境が修道には整っています。最高に熱くて、充実したい人、予想をはるかに超える3年間が待っていますよ。

座談会【新生だった教員×教頭】

自由な校風は、先生と生徒、卒業生が一体となって作り出し、継承している。

今年から新生対象の補習を開始し、バックアップしている。

藏下教頭　先生方は、新生つまり高校から修道に入学されたということですが、理由は何でしょうか?

竹川　当時は修道や附属に合格したら、公立は受験しないという雰囲気がありました。それと自由な校風という良い印象を持っていました。

町　私の地域では受験する公立高校を選べません。学力レベルの高い高校に行きたかったので、「それなら修道だろう」と思って必死で勉強しました。

藏下教頭　高校からの入学に不安はありましたか?

竹川　特になかったですね。150名入学でしたし。

町　不安はなかったのですが、公立中学との学習の進み具合が違うので、戸惑った部分はありました。古典は習ってもいませんでした。

藏下教頭　今古典の先生をされていますが、どう克服されたのですか?また、どうして古典の先生に?

町　当時は、新生向けの補習が放課後にあってそれで補いました。

竹川　そう、補習はありましたね。

町　古典の先生になったのは、自然の流れですね。

大学は心理学を専攻したので、何かの巡り合わせとしか(笑)。今年も強制ではなく希望者が自主的に参加する形で、高校1年生向けの補習を始めています。

藏下 一成
■高校教頭
美術科教諭

社会と同じように時代の変化はあるが、修道は、昔も今も変わらない。

藏下教頭　なぜ修道の教師になったのですか?

竹川　大学卒業後は大学院へ進むつもりでしたが、4年生の8月頃に突然「欠員が出たから、教員にならないか。返事は今すぐ」と修道から電話があり、深く考える暇もなく30秒後に返事をしていました。

藏下教頭　修道らしいと言えば修道らしいですね。

竹川　そうですね。修道の教員になるとは少しも考えていなかったのですが、即答したのは、修道に入学して良かったと思っていたからだと思います。

竹川 誠
■社会科教諭
5年生学年主任

町　教師になろうと思ったときに。何校か声もかけていただいたのですが、やっぱり修道の校風が好きだったのでここに決めました。

藏下教頭　昔と今では修道は変わりましたか?

竹川　別に変わったとは思いませんね。時代とともに多少の変化はあるのでしょうが、それは修道というよりも社会が変わっただけなのでしょう。

町　私もそう思います。破天荒な生徒がいなくなったように思いますが、それも社会の流れかなと。ただ、先生方も苦労されていたんだなと教師になって分かりました。

藏下教頭　自由な校風は、教師にも当てはまります。生徒と教師が一体で作り出しているものなんですね。

竹川　そう思います。それに卒業生も加わりますね。

OBの繋がりは強固ですから。誇りにしたいですね。

町　伝統を継承していく責任を感じています。

町 一誠
■国語科教諭
4年生担任